

2010-2011

# WEEKLY REPORT

ROTARY CLUB OF NAGOYA MEINAN

URL <http://www.meinan-rotary.com> E-mail [info@meinan-rotary.com](mailto:info@meinan-rotary.com)



地域を育み、大地をつなぐ

2010-2011 年度 RI 会長 レイ・クリンギンミス

## 名古屋名南ロータリークラブ

■承認 / 1991年3月8日 ■例会日 / 火曜日・PM6:30 ■例会場 / 名古屋マリオットアソシアホテル  
■会長 / 太田 敦士 ■幹事 / 吉木 邦男 ■会報・雑誌・広報委員長 / 三島多恵子  
■事務局 / 〒450-6002 名古屋市中村区名駅1丁目1番4号 名古屋マリオットアソシアホテル 2202号  
TEL.052-586-2043 FAX.052-586-2054

## 第957回

2011年6月14日(火) 晴 第44回

～ ローター親睦月間～

斉唱	それこそロータリー
出席	会員 65名 (出席率算入人数 59名) 出席 46名 出席率 77.97% 前々回補填率 93.22%(5月31日分)
ゲスト	名古屋市児童養護連絡協議会 会 長 岡田 和幸 様 事業部長 柴田 弘二 様

## 副会長あいさつ

副会長 猪村 美之さん

皆様、こんばんは。

さて、ロータリーメンバー特典の1つに各地区のメイクアップが自由に出来るというのがあります。私も最近では出席免除になりましたので機会がなくなりましたが、以前は何回かいたしましたので少し紹介いたします。



東京RCは、帝国ホテルで水曜日にやっております。ちょうどウシオ電機の牛尾治朗さんが会長の時にメイクアップいたしました。荘厳な部屋でやるのですが、行きますとすぐ会長が現れて名刺交換し、「よく来て下さいました。」と言われまして非常に感激した事を憶えております。始まりますと、牛尾さんがスケジュールを全部1人でやってしまうことに驚きました。ロータリーソング唱和、ゲストビジター紹介、出席報告、委員会報告全部です。非常に簡潔にやられ、ニコボックス報告や委員会報告は、必ず会報に載せてきちっと読んでもらうとおっしゃってございました。非常に卓話を重視しておるということで、会長あいさつ等はできるだけ簡略で終わって、卓話に充分時間を費やし、しかも4回先の卓話まできちっと会報に内容が紹介されておりました。終わりも3～4分早くきちっと終わり、非常にすっきりとした感じがしたのを憶えております。

東京恵比寿RCへ出た時には、当時の会長が司葉子さんで、往年の大女優の会長あいさつを聞いたことを憶えております。

京都RCは、ホテルオークラでやっております。非常に良いのは、食事が軽食とフルコースと選べまして、軽食と言っても2,100円で非常においしいパスタにサラダやデザートが付いておりました。しかも駐

車場が4時間無料です。テーブルには助手の方が1人づつ付いておりまして、京都見物の地図までくれました。

こういったメイクアップも非常に良い体験になりますので、まだされていない方は是非色々な所のメイクアップも良い思い出になると思います。

## 幹事報告

幹事 吉木 邦男さん

1. 次回6月21日はIDMです。会場は名古屋観光ホテル、18時30分の開始ですので、お間違いの無いようにお願いいたします。

## 副幹事報告

副幹事 入谷 直行さん

出席袋に次年度の構成表が入っております。先程、次年度事前クラブ協議会で承認をされました。

今年度末、人数が減りましたので、大変厳しい人事になっております。大勢の方に兼任をお願いしておりますが、苦肉の策でございますので、どうぞご了解をいただいて、宜しくお願いいたします。

## ニコボックス

- ◆ 本日卓話を仰せつかりました。うまくお話出来るか分かりませんが、資料・映像でご理解頂けたらと思います。 児島 徳和さん
- ◆ 本日は、児島さんによる会員卓話です。よろしくお願ひします。

野々村憲吾さん	安藤 修さん	白藤 憲雄さん
川村 繁生さん	山本 誠一さん	伊藤 圭一さん
新原 尚さん	川瀬 悟さん	中村 勝さん
田中 省三さん	長尾 浅吉さん	中西 芳子さん
細井 俊男さん	鈴木 清詞さん	宮寄 良一さん
吉木 邦男さん	森田敏二三さん	坂田 信子さん
伊藤 博昭さん	黒田 康正さん	三浦 和人さん
東山 直史さん	武藤 正行さん	山本 郁矢さん
榊原 和美さん	浅井 浩さん	牧野 好弘さん
林 隆二さん	猪村 美之さん	田中 一雄さん
出田真太郎さん	犬飼りさ枝さん	

◆ 健康で、ごはんがおいしいです。

坂本 晃さん

本日合計 35,000円 累計 1,739,000円

## 委員会報告

### ■社会奉仕委員会 委員長 児島 徳和さん

我が名南RCは、伝統的に児童養護施設に対して支援をしています。その一環で、毎年年会費の中から、1人当たり上期1,000円、下期1,000円、計年間2,000円を、市内24クラブにて社会奉仕事業を实践する原資に充てさせていただいております。

2004年から今日お越しいただいております名古屋市児童養護連絡協議会の行事に積極的に支援をさせていただいております。今年度に続き次年度も決まっております。今年名養連さんの会長が変わられましたので、ごあいさつをいただきたいと思い、本日お越しいただきました。



### ■名古屋市児童養護連絡協議会 会長 岡田 和幸様

名古屋市の児童養護連絡協議会は、児童養護施設14、乳児院4、一時保護所等の施設20で構成されております。名古屋市内では現在約700名の子供達が施設で生活しており、その60%は虐待で入ってきています。つい先日も22歳の若い母親が生まれて数ヶ月の子供を床に投げ捨てて殺したというような虐待事件が起きております。最近は虐待等で家庭で暮らせない子供達がいっぱい入ってきております。家では良い思いをしていなかった子供達が、皆様の温かいご支援によりまして、施設で笑顔を見せておられるのは非常にうれしく思っております。今年度もまたご支援をいただけるということで、本当にありがとうございます。

### 事業部長 柴田 弘二様

毎年様々な行事等で大変お世話になっております。記憶に残るところで、2ヵ年連続で小さな子供達との雪遊びの行事をロータリークラブの皆様方にお世話になって実施させていただいたのですが、ずっと継続して是非続けていきたいということで現在参加費を取って続けている経緯があります。このような雪遊びのように大変有意義な行事をロータリークラブの皆様方に取り組んでいただいております。今後とも宜しくお願いいたします。

## 会員卓話

### ■「20周年及び台北ミレニアムRCとの共同事業」 ～被災地支援先訪問報告～

児島 徳和さん  
今回被災地を訪問しましたのには、いくつかの目

的がございます。1つ目は本年度台北ミレニアムRCと姉妹提携を正式調印させていただきましたが、その中に毎年両クラブで第3国へ共同支援事業を行うという条項が盛り込まれております。震災の後、台北ミレニアムRCの方から、今回は東日本大震災への支援をしたいとお話がありました。20周年記念行事で約420万円のお金が残ったので、台湾から150万円、うちがニコボックスからも足して450万円、計600万円を被災地への支援としようということになりましたので、私が責任を持って現地視察を兼ねて行ってきました。



2つ目は、名養連さんから現地の児童養護施設へ支援物資のマスクを17ケース届けて欲しいということで、他の支援物資と合わせながら、エステイマ2台にてんこ盛りで3泊4日で行って参りました。

まず、大船渡市の大洋学園さんへ参りました。ここは児童養護施設だけではなく、大規模な福祉施設で、大船渡市及び陸前高田市で運営されているところがございます。陸前高田市の施設がほとんど何も無い状態になってしまい、市もインフラ整備を行わないので、浄化槽設置の要請が当初ございました。ただ、今回台北ミレニアムRCとの共同事業ということがございまして、スムーズにはいかず、そうこうしている間に他所からの助成で行われました。ついでには、グループホームの住居が壊れて使えなくなったということで、その建設資金に充てさせていただきたいという要請があり、太田会長に了解を取って支援をさせていただくことになりました。

もう1箇所、気仙沼市の旭が丘学園さんも同じような要請がありましたが、被害が陸前高田市の大洋学園さんの方が大きいので、大洋学園さんに400万円、旭が丘学園さんに200万円ということにさせていただきました。

実施は次年度になるかと思いますが、我がクラブの20周年記念の実績としては、良い形に展開できるのではないかと思います。

### 私が見たく震災の教訓—教え—

4月30日に大船渡市に到着し、大洋学園さんの園長先生と話している時にちょうど震災から50日目です。NTT回線が通じました。実は行く前に私も電話をしていましたが、全然繋がらなくて困り、仕方ないのでぶっつけ本番で行きました。今回衛星携帯電話が有効だということが重々お分かりいただけたと思いますが、やはり復旧というのは都市部から始まっていきますので、郊外にある事業所等々は非常に遅れてしまいます。通信手段の確保というのはとても大事な部分ですので、あらゆる手を尽くされて準備が必要と感じました。

大船渡市の市街図は見ての通り、湾があり川があります。津波は川に沿って奥の方へいっております。一番びっくりしたのは、テレビ報道では出てこない部分ですが、津波は国道までは行っていますが、国道から向こうは全然無傷です。この落差にはびっくりいたしました。

次に気仙沼市に向かいました。気仙沼市も国道から橋までが全部やられました。前回の川辺さんの話

にありましたが、先人が住んでいなかった新たにできた所が、結果的に全部被害を受けてしまっています。我々は全域を見ようと思い、高台に行きましたら、お年寄りがおられ、声を掛けたところ、30分も話していただきました。この方は、地震で警報が鳴ったのですぐこの高台に上がったけれども、奥さんは途中で忘れ物を取りに戻り津波にのみ込まれたそうです。息子さんも車に乗って逃げる途中で津波にのみ込まれたそうです。やはり、先人の言い伝えは素直に実行しなければいけないということが印象に残りました。皆様、会社の経営者でおられる方が多いので、家族も社員も大事でしょうが、まず自分の身を第一に優先して対処しなければいけないと思いました。

それから、先程の大洋学園さんも旭が丘学園さんも、備蓄を3日分していたそうです。ただ、近隣が被災した関係で全部避難所になってしまって、結局1日で無くなってしまい、2日目以降は困ったということで、想定以上の備蓄がいるのではないかと思います。

気仙沼市は今回被災地の中で唯一火事が起きております。例えば名古屋等の都会では、津波が無いとは言いませんが火災の被害が大きいのではないかと思います。直近300メートル以内でコンビナート等の施設がある場合は、事が起きた時の対処を今うちにしておかなければいけないと思いました。

また、先程のお年寄りから聞きましたが、津波の第一波はそれほど奥までいっていませんでしたが、引き波で堤防が全部壊され、第二波が一気に奥までいってしまったようです。第一波が引いてから、非難していた方が荷物を取りに戻った光景が見られたようで、やはり先人の教えが生きなかったようですので、非難訓練は全員でやられることが非常に大きいと思いました。

帰りに福島県に寄りながら磐梯山に行きました。連休中にもかかわらず、車はガラガラで人が居なくて、開いているホテルは2軒だけでびっくりしました。風評被害で全然お客さんがいないのです。風光明媚な素晴らしい所で、近くにはゴルフ場も沢山ありますので、落ち着いた段階で是非行かれると良いと思います。

また、被災地のことではないのですが、東京ディズニーランドのことを簡単に紹介させていただきます。ディズニーランドは2日に1回防災訓練をやっています。アルバイトでほとんど賄っておりますが、全員が知っているという状況であったということです。事が起きたら売っているぬいぐるみをお客様の頭に掲げてもらい、天井から落ちてくるものに対して防御をしてもらう等のことがありました。

最後に、こちらへ戻ってきてから私が思うことがありました。こちらは津波が無いから関係ないというような印象を受ける時が多々あります。しかし、現地を見ていると、国及び市町村が作ったハザードマップのはるか彼方まで現実には来ています。3月頃までは東海地震でも名古屋港でせいぜい1~2メートルだと言われておりました。しかし、ここにきて東海・東南海・南海の3つが来れば、今回の津波以上のものが来ると言われるようになりました。おそらく名古屋でも5メートルくらいは来ると思います。海拔5メートルと言いますと、ビルの2階までは

来ます。国道1号線より南側の地盤が低いので、影響が出る可能性が高いのではないかと思います。地震が来ることは避けられないと思いますが、いかに備えるかということです。

恐らく今後色々な検証が済み、新たな事実が起きると思いますが、備えあれば憂いなしということで、今回の東北の方々の被災の経験を生かさなければいけません。今回伝えることも私の責務だと思います、ちょうど卓話の席をいただいたのでお話をさせていただきました。

## 第 959 回例会 (6月 28 日) のご案内

クラブフォーラム